

現在、児童クラブの運営に関しては社会福祉法人光輪会(月の輪学園)に委託しています。

児童クラブでは新型コロナウイルス感染症対策も含め、児童の安全確保を第一にしながら、児童が楽しく穏やかに放課後を過ごせるよう取り組みを行っており、町、委託事業者、学校、保護者との連携を図りながら児童の安全と健やかな成長を見守っています。



放課後児童クラブを紹介します!

毎日元気な児童の笑い声がひびいています

町では現在、7つの放課後児童クラブを3か所で運営しており、小学1年生から6年生まで212人の児童が元気に通っています。

放課後児童クラブの紹介

南吉富放課後児童クラブ

在籍児童数:94人

町の定住ゾーンに位置し、子育て世代の転入などによって子どもの数が増えてきたことから、令和2年度に新しく放課後児童クラブ館を建設しました。

新しい施設は、地元産の木材を多く使った木造建築で、室内は独特なあたたかみのある空間となっています。

南吉富小学校の敷地内にあるため、児童は下校後に歩いて通え、屋外遊びの時間には広い校庭を使って遊んでいます。



西吉富放課後児童クラブ

在籍児童数:47人

平成17年に旧新吉富エリア全体の児童(当時は低学年児童のみ)を対象に「しんよしとみ放課後児童クラブ」として設立されました。

現在は西吉富小学校の児童を対象として、低学年が通う「にしよし児童クラブ」、高学年が通う「コスモス児童クラブ」の2つの建物で、体格差がある低学年と高学年を分けて保育しています。

敷地が比較的広く、専用の運動広場でのびのびと遊んでいます。



大平放課後児童クラブ

在籍児童数:71人

友枝小学校と唐原小学校、2校の児童が通う放課後児童クラブです。

大平支所内に設置しているため、唐原小学校の児童は放課後に送迎のバスに乗って児童クラブに通います。

2校の児童と一緒に過ごすので、自然と学校間の交流が生まれ、広い範囲の友だちと知り合うことができます。



放課後児童クラブとは

放課後児童クラブは、小学校に就学している子どもで、保護者が就労などにより昼間家庭にいない子どもを対象として、放課後の時間帯における適切な遊びと生活の場を提供し、子どもたちへの生活支援を通して、健全な育成を図ることを目的とする事業です。

児童が安全に健やかに過ごすためにクラブでは、自習時間を設けたり、外遊びをしたりなど、様々な工夫をしています。

放課後児童クラブに求められる機能・役割

- 子どもの健康管理、情緒の安定確保
- 出欠確認をはじめとする子どもの安全確認、活動中及び来所・帰宅時の安全確保
- 子どもの活動状況の把握
- 遊びの活動への意欲と態度の形成
- 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の育成
- 連絡帳などを通じた家庭との日常的な連絡、情報交換
- 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援
- その他、放課後における子どもの健全育成上必要な活動

放課後児童クラブの設置状況

名称(校区)	クラブ名	対象児童
南吉富放課後児童クラブ (南吉富小学校)	第一みなみよし児童クラブ	1年生
	第二みなみよし児童クラブ	2年生、4年生
	第三みなみよし児童クラブ	3年生、5~6年生
西吉富放課後児童クラブ (西吉富小学校)	にしよし児童クラブ	1~3年生
	コスモス児童クラブ	4~6年生
大平放課後児童クラブ (友枝小学校・唐原小学校)	たいへい児童クラブ	1~2年生
	サクラ児童クラブ	3~6年生

児童クラブからのお知らせ

■入所希望や退所希望、保護者の就労状況の変更などがあった場合は、上毛町役場子ども未来課で手続きを行ってください。

利用料	月額6,000円(おやつ代2,000円含む) ※ひとり親世帯や非課税世帯、きょうだいで利用している場合などは減免措置があります。
開所時間	登校日放課後の午後6時まで ※土曜日や夏休みなどの長期休暇中は午前7時30分から午後6時まで

